

31/08 '07 17:18 FAX 00861086211845

NTD BEIJING OFFICE

013/014

(21)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-8244

(P2000-8244A)

(45) 公開日 平成12年1月11日 (2000.1.11)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	予知-ド (参考)
D 0 8 D 15/00		D 0 8 D 15/00	B 4 F 1 0 0
B 3 2 B 5/02		B 3 2 B 5/02	A 4 L 0 4 5
D 0 4 H 3/04		D 0 4 H 3/04	Z 4 L 0 4 7
3/14		3/14	Z 4 L 0 4 8
// D 0 1 D 5/42		D 0 1 D 5/42	
		特許請求 未請求 請求項の座 1 O L (全 5 項)	

(21) 出願番号 特願平10-170687

(22) 出願日 平成10年6月18日 (1998.6.18)

(71) 出願人 000234122

萩原工業株式会社

岡山県倉敷市本島中道1丁目4番地

(72) 発明者

井上 智幸

岡山県玉野市新崎2-25-23

最終頁に終く

(54) 【発明の名称】 強化膜層用フラットヤーンクロス

(57) 【要約】

【課題】 低熱収縮率でポリエチレン系フィルムまたは不織布との接着性が良好な強化膜層用フラットヤーンクロスを提供する。

【解決手段】 ポリプロピレンからなる中間層と下記樹脂組成物からなる両外層とから構成される複合テープヤーンを基材に用いたクロスであって、該樹脂組成物がポリプロピレン系樹脂 20～60重量%と下記(1)～(4)の性状を有するメタロセン触媒を用いて製造されたエチレン・α-オレフィン共重合体 40～80重量%とからなることを特徴とする強化膜層用フラットヤーンクロスである。

(1) メルトフローレートが 0.1～10 g/10 min.

(2) 密度が 0.90～0.94 g/cm<sup>3</sup>

(3) DSCによる最大ピーク温度 (T<sub>m</sub>) が 80～125℃

(4) 分子量分布 (M<sub>w</sub>/M<sub>n</sub>) が 1.8～3.5